



## 平成28年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 IMV株式会社  
 コード番号 7760 URL <http://www.imv.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小嶋 淳平  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部長代行 (氏名) 濱里 一也  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6478-2565

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年9月期第3四半期の連結業績(平成27年10月1日～平成28年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第3四半期	7,460	9.7	888	△26.9	760	△40.1	452	△43.3
27年9月期第3四半期	6,798	16.5	1,215	23.8	1,270	26.1	797	40.6

(注) 包括利益 28年9月期第3四半期 504百万円 (△37.2%) 27年9月期第3四半期 802百万円 (39.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第3四半期	27.66	—
27年9月期第3四半期	48.79	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第3四半期	11,810	4,937	41.8
27年9月期	10,980	4,539	41.3

(参考) 自己資本 28年9月期第3四半期 4,937百万円 27年9月期 4,539百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	6.50	6.50
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	6.50	6.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年9月期の連結業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	9,500	3.6	1,200	△12.9	1,250	△10.7	800	△11.4	48.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 2社 (社名) 株式会社振研、IMV America, Inc. 、除外 1社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期3Q	16,957,016 株	27年9月期	16,957,016 株
② 期末自己株式数	28年9月期3Q	614,585 株	27年9月期	614,585 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期3Q	16,342,431 株	27年9月期3Q	16,343,338 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値その他の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
4. 補足情報	12
生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢の改善がみられる等、緩やかな回復基調が続いているものの、企業の業況判断に慎重さが見られる等、一部不透明な状況となっております。また、海外経済におきましては、米国景気が堅調となる一方で、中国では減速傾向が続きました。さらには英国が国民投票においてEU（欧州連合）離脱を選択したことで、先行きの不透明感が増してきております。

このような環境の中、当社グループは、当社の主力製品であるiシリーズの後継機として開発・製品化した「ハイグレードタイプ振動試験装置Aシリーズ」及び低周波振動や微小振動を3軸同時に計測可能な「小型高性能振動計測装置」の積極的な販売活動をすすめてまいりました。さらには、アメリカ及びその周辺地域の顧客に対する利便性の向上と拡販の実現に向けて、米国にてIMV America, Inc. を設立する等、様々な取組みを進めています。

業績面につきましては、振動シミュレーションシステムにおいて、自動車関連業界・電機電子業界を中心に順調に売上が推移し、前年同四半期を上回る売上高となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は7,460百万円となり、前年同四半期と比べ662百万円の増収（対前年同四半期比9.7%増）となりました。利益面では上野原テストラボ開設に伴う人員や減価償却費等の増加により経常利益は760百万円となり前年同四半期と比べ509百万円の減益（対前年同四半期比40.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は452百万円となり前年同四半期と比べ345百万円の減益（対前年同四半期比43.3%減）となりました。

品目別の営業の概況は次のとおりであります。

## (振動シミュレーションシステム)

振動シミュレーションシステムの分野におきましては、自動車関連業界、電機電子業界を中心に温湿度・振動複合環境シミュレーションシステムの売上が依然として順調であり、省エネ型振動シミュレーションシステムの売上也堅調に推移しました。また、韓国や欧州に対する振動シミュレーションシステムの売上也増加したほか、株式会社振研の完全子会社化による売上高貢献により、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は5,708百万円となり前年同四半期と比べ532百万円の増収（対前年同四半期比10.3%増）となりました。

## (テスト&amp;ソリューションサービス)

テスト&ソリューションサービスの分野におきましては、上野原テストラボ開設による売上高貢献や、大阪テストラボにおける鉄道車両用機器向けの試験が順調に推移した他、名古屋テストラボにおける稼働率向上により、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は1,046百万円となり前年同四半期と比べ43百万円の増収（対前年同四半期比4.3%増）となりました。

## (メジャリングシステム)

メジャリングシステムの分野におきましては、前期に続きフィリピン・トルコでの市場開拓等、販路拡大に向けた活動や、高性能加速度センサモジュールを用いた「HM-0013」や「エレベーター用感震器」等の販売活動を行いました。また、中国、台湾への地震監視装置の販売や国内において振動監視装置の更新による売上也順調に推移したこと等により、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、この品目の売上高は705百万円となり前年同四半期と比べ86百万円の増収（対前年同四半期比14.1%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産は前連結会計年度末と比べ829百万円増加し、11,810百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比べ764百万円増加し、7,396百万円となりました。この主な要因は、受取手形及び売掛金の増加243百万円及び仕掛品の増加295百万円があったことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末と比べ65百万円増加し、4,414百万円となりました。この主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による無形固定資産の増加42百万円及び投資その他の資産の増加29百万円があったことによるものであります。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は前連結会計年度末と比べ431百万円増加し、6,872百万円となりました。流動負債は、前連結会計年度末と比べ628百万円増加し、5,383百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少430百万円があったものの、電子記録債務の増加732百万円があったことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末と比べ196百万円減少し、1,489百万円となりました。この主な要因は、長期未払金の増加32百万円があったものの、長期借入金の減少225百万円があったことによるものであります。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は前連結会計年度末と比べ398百万円増加し、4,937百万円となりました。この主な要因は利益剰余金の増加345百万円によるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ0.5ポイント増加し41.8%となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成27年11月13日に公表いたしました平成27年9月期決算短信に記載の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間より、株式会社振研の株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。

また、当第3四半期連結会計期間においてIMV America, Inc.を新規設立したことにより、連結子会社が増加いたしました。この結果、平成28年6月30日現在では、当社グループは、当社及び子会社6社により構成されることとなりました。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第3四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,623,657	1,634,841
受取手形及び売掛金	2,786,404	3,030,134
電子記録債権	—	148,421
製品	409,561	345,044
仕掛品	1,112,356	1,407,866
原材料	380,844	501,858
繰延税金資産	134,704	132,843
その他	204,221	207,496
貸倒引当金	△19,621	△12,168
流動資産合計	6,632,128	7,396,338
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	839,327	1,895,729
土地	1,624,965	1,624,965
その他	1,621,546	559,474
有形固定資産合計	4,085,839	4,080,169
無形固定資産	33,374	75,390
投資その他の資産	229,620	258,724
固定資産合計	4,348,833	4,414,284
資産合計	10,980,962	11,810,622
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,117,059	1,686,218
電子記録債務	—	732,106
短期借入金	1,310,000	1,715,000
1年内返済予定の長期借入金	387,353	357,300
未払金	234,503	246,949
未払費用	205,047	292,067
未払法人税等	246,185	34,382
未払消費税等	11,234	75,131
製品保証引当金	64,000	74,500
その他	180,222	170,065
流動負債合計	4,755,605	5,383,721
固定負債		
長期借入金	1,395,950	1,170,497
繰延税金負債	25,798	19,183
長期未払金	194,859	226,920
資産除去債務	38,752	43,459
その他	30,513	29,066
固定負債合計	1,685,873	1,489,127
負債合計	6,441,478	6,872,848

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,817	464,817
資本剰余金	557,563	557,563
利益剰余金	3,587,448	3,933,298
自己株式	△110,597	△110,597
株主資本合計	4,499,231	4,845,081
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,327	29,854
為替換算調整勘定	5,924	62,838
その他の包括利益累計額合計	40,252	92,692
純資産合計	4,539,483	4,937,773
負債純資産合計	10,980,962	11,810,622



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
売上高	6,798,202	7,460,529
売上原価	4,088,451	4,913,350
売上総利益	2,709,751	2,547,179
販売費及び一般管理費	1,494,143	1,658,538
営業利益	1,215,607	888,640
営業外収益		
受取利息	461	478
受取配当金	1,876	2,216
為替差益	27,107	—
受取賃貸料	31,945	31,239
雑収入	15,154	17,927
営業外収益合計	76,544	51,862
営業外費用		
支払利息	12,517	11,631
セミナー費用	4,477	4,666
為替差損	—	160,714
雑損失	4,676	2,556
営業外費用合計	21,670	179,569
経常利益	1,270,482	760,932
特別損失		
固定資産除却損	644	3,905
特別損失合計	644	3,905
税金等調整前四半期純利益	1,269,837	757,026
法人税、住民税及び事業税	451,941	277,550
法人税等調整額	20,576	27,400
法人税等合計	472,517	304,951
四半期純利益	797,319	452,075
親会社株主に帰属する四半期純利益	797,319	452,075

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	797,319	452,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15,198	△4,473
為替換算調整勘定	△9,598	56,913
その他の包括利益合計	5,600	52,440
四半期包括利益	802,920	504,516
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	802,920	504,516
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社及び連結子会社の事業は振動に関するシミュレーションシステムの製造・販売及び振動試験の受託並びにメジャリングシステムの製造・販売であり、その事業全てが振動に関する単一事業であるため、セグメント情報は記載しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## 生産、受注及び販売の状況

## (生産実績)

品目	期別 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)		期別 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	5,173,463	76.1	5,832,667	76.9	112.7
テスト&ソリューションサービス	1,003,307	14.8	1,048,055	13.8	104.5
メジャリングシステム	615,372	9.1	707,389	9.3	115.0
計	6,792,142	100.0	7,588,112	100.0	111.7

## (受注高実績)

品目	期別 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)		期別 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	5,833,592	78.1	5,327,111	74.9	91.3
テスト&ソリューションサービス	1,005,042	13.4	1,073,328	15.1	106.8
メジャリングシステム	634,439	8.5	714,884	10.0	112.7
計	7,473,075	100.0	7,115,323	100.0	95.2

## (受注残高)

品目	期別 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)		期別 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	3,421,263	92.4	3,333,530	91.0	97.4
テスト&ソリューションサービス	162,597	4.4	157,059	4.3	96.6
メジャリングシステム	119,301	3.2	173,435	4.7	145.4
計	3,703,162	100.0	3,664,025	100.0	98.9

## (販売実績)

品目	期別 前第3四半期連結累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)		期別 当第3四半期連結累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年6月30日)		対前期比(%)
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	
振動シミュレーションシステム	5,176,724	76.1	5,708,748	76.5	110.3
テスト&ソリューションサービス	1,003,344	14.8	1,046,651	14.0	104.3
メジャリングシステム	618,133	9.1	705,129	9.5	114.1
計	6,798,202	100.0	7,460,529	100.0	109.7